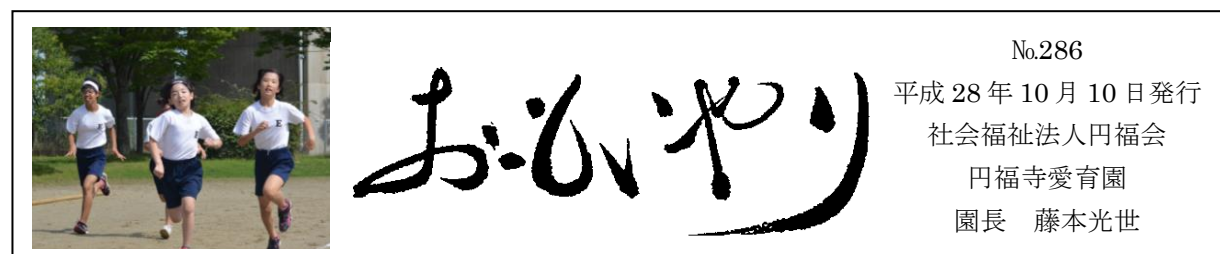


第3回愛育園運動会特集号です。写真は、小学生4,5年生のかけっこです。



素晴らしい運動会 ー子どもの力を最大限引き出す愛育園ー 園長 藤本光世

第3回運動会は、長雨も開けた25日（日）に、渡邊理事さま、通明小学校大日方校長先生はじめ、大勢の来賓の皆様においでいただき、盛大に挙行することができました。通明小学校の先生方にはお忙しい中を大勢おいでくださり、子ども達と一緒に競技に参加していただき、誠にありがとうございました。

この日のために、職員も子ども達も一丸となって準備してきました。その成果が、如何なく発揮されて、一生懸命な姿から大きな感動をもらいました。職員たち、子ども達ありがとう。

運動会の目玉は、応援合戦です。この日のために、職員も子ども達も夜遅くまで練習してきました。あんまり遅くまでやるので、ご近所から「うるさくて子どもが寝られない」と苦情が来たほどでした。そんなにまでして、技を、演舞を完成しようとしてくれた職員や子ども達に敬意を表します。

今年の全員演舞は、扇子を使ったものでした。100本近くの扇子を買って、片面に赤いペンキを塗っているので、いったい何をするのだろうかと思っていました。当日見て、分かりました。扇子の赤面と白面を切れ味良く、全員が揃えて、切り替えて、切り回して、躍らせて、かざして、その一体感と、スピードと、踊り舞う紅白の美しさに魅了されました。きっと、本部席で見てくださったご来賓の皆様にも、子ども達の熱演が、そして熱演に賭けた本気の心が届いたのではないかと思います。そのビデオは、ホームページに動画で掲載します。どうかご覧になっていただきたいと思います。

小学生の応援と組み体操、中高女子と女性職員のチアダンス、中高男子と男性職員の演舞も見事でした。これもホームページに掲載します。何しろ、楽しそうでした。嬉しそうに演技していました。素晴らしいかった。

子どもたちが毎日練習してきた競技はマラソンです。幼児さんまで、全員が毎日千曲川の堤防上の3キロのコースを走りこんできました。速い子は、9分を切るようになりました。小学生も10分前半の子があらわれました。みんな、一生懸命に練習できました。走ることは楽しいことですが、怠け者にとっては苦しいものです。遊び人にはやりたくないことです。だから、ほとんどの施設は、子ども達に走る練習をさせることができない。愛育園は違います。運動会の一ヶ月くらい前から、

（平成28年10月10日発行 月刊「円福」483号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可）

毎日走ります。全員が走ります。自己記録を1秒でも伸ばそうと努力しています。これが素晴らしい。だから、当日もみんな一生懸命に走って、すべての子が完走して、走り切った子ども達の表情は晴れやかでした。満足げで、嬉しそうでした。その表情を見て、私も心が晴れやかになりました。嬉しくなりました。

運動会は、紅組と白組にわかれて、団体戦がありました。今年は、綱引き用の綱を購入して、全員が力を競いました。綱引きは楽しい。このほかに、お楽しみのしっぽとり競技や、ジェンカじゃんけんも取り入れ、リズムダンスもあり、楽しい時間も作りました。白組はじゃんけんが強かった。私は2回とも最初に負けました。Rちゃん強かったね。

夕食の前に、みんなで演舞のビデオを見ました。子ども達は演技しているから、全体の姿は見られません。演技を見ながら、全員がそろった切れ味良い団体演舞に、何度も、何度もオーっと歓声が上がりました。拍手が湧きました。子ども達も、自分たちの演舞を見て、凄い、素晴らしいと感じたのでしょう。そこに、愛育園の子ども達全員の一体感がありました。

ビデオの後、ジュースで運動会の大成功をよろこび、お互いの努力をたたえ、そしてこのことが毎日の生活にきっと生きることを確信して、乾杯しました。

乾杯が終わって、私から『これから重大発表をします。』と話しました。『皆さんの準備と努力と、運動会の本気な姿を讃えて、クリスマスのディズニーランドに連れて行きます！』こう話すと、喜びが爆発しました。『えーっディズニーランド。嬉しい嬉しい』の歓声が食堂に沸き起こりました。そして『ディズニーランド万歳！万歳！万歳！』と自然に子ども達の喜びが爆発しました。

子ども達は、きっと、これを自信にして、さらに毎日の生活を頑張ってくれると思います。そして、自分の夢をかなえるように、本気になって努力すると思います。その心の礎がより強固になったと感じました。素晴らしい運動会ができました。



第3回 愛育園大運動会

副園長 青谷 幸治

今年で3回目の愛育園大運動会を盛大に開催することができました。今年は、中高生が職員と一緒に運動会の準備をし、マラソン練習や応援合戦の練習に積極的に参加し運動会を作り上げてくれたなという実感がありました。

施設に入所する児童はどちらかというとコミュニケーション能力が低い、社交的ではない、何をやるにも自信がないなど学校や家庭で身につけるべきことが身につけていない子が多いのが現状です。愛育園の行事は子どもの感性、やる気、自信、経験、達成感など今身につけるべきことがたくさんあります。この運動会で中高生の積極的な参加が目立っていることは、中高生にもやれば何でもできる、自信がついた、勇気が出た。など心が変わり、行動に大きな変化が生まれ、運動会の成功以上に自分の将来について考えられる中高生が増えたと思います。

運動会の達成感や3週間準備してきたこともあってか、片付けまでしっかりできるのも今の中高生のいいところだと思いました。誰一人として疲れた顔を見せず、最後までゴミ一つ残さず片づけをする。これが今の愛育園の特徴だと思います。

やりたいことだけをやるのではなく、大変なこと（準備や片付け）を自然にできることが大切。これが身体に染み込んでいるように思いました。

たくさんの来賓の皆様方が競技に参加していただき、運動会を盛り上げていただきました。また児童・職員による応援合戦も見いただくことができました。

この年一回の運動会に賭ける情熱をお見せすることができました。児童・職員の皆さんお疲れ様でした。そして来賓の皆様方、お忙しい中参加していただき誠にありがとうございました。

第3回愛育園大運動会

主任保育士 石崎 早織

天気も心配されていましたが、晴天の中第3回愛育園大運動会が開催されました。

この日の為に、子どもたちや私たち職員は一ヵ月前から動き始め、準備をしてきました。マラソン練習は今年も8月の終わりから練習を重ねてきました。日に日にタイムが縮まる子どももいれば、前半はタイムが上がっていたけれど、後半になると少しずつ遅くなってしまう子もいました。でも子ども達は毎日一秒でも縮められるよう精一杯頑張って取り組んでいました。また愛育園大運動会のメインでもある応援合戦。今年の中高生は扇子を使い、みんなで呼吸を合わせ一つの演技を行いました。毎年レベルアップしているので、毎回成功するのかな？と不安に思いますが、子ども達の呑み込みの速さには毎回行事のたびに驚かされています。

きっと応援合戦の事は他の先生方がおもしろいやり方を書いてくれると思うので、私は「赤組」の事を書きたいと思います。毎年運動会の時期が近づくにつれ、子ども達は今年どちらのチームになるのかとドキドキです。私は2年連続赤組の副主将をやらせて頂いており、園長先生を筆頭にチームを引っ張って行っています。第1回の運動会は赤組が優勝、第2回目は惜しくも数点差で負けてしまいました。そのため今年は何が何でも赤組が勝たなくてははいけません。赤組のメンバーが決まり、

早速全員が集まりミーティング！！今年のチーム目標は「心を一つに絶対優勝！！」に決め、それぞれの種目の選手を発表しました。百足競争、紅白リレーは代表選手のための参加になります。チームの為に絶対勝つ、という強い気持ちがチームの絆を強くし練習にも一生懸命取り組んでいました。紅白リレーでは小学生のバトンパスがなかなかうまくいかず、何度も何度も繰り返し練習をしたり、中高生の子からアドバイスを貰ったり、百足では小学生メンバーが初めて挑戦する子が全員だったので、足の出し方から一つ一つ練習をしてきました。その他にも全員で行うジャマジャマ玉入れや、綱引き、そして個々で戦う短距離走やパン食い競争、マラソン全ての競技に対してみんな一生懸命取り組んでくれ、心が一つになったチームになったと感じました。そして閉会式では「総合優勝 赤組」と呼ばれた時は子ども達の最高の笑顔を見る事が出来ました！！運動会で見せてくれた子ども達の頑張りが、今度は日常生活で生かされるようにしていきたいです。次は愛育園祭です。また愛育園みんなの心を一つにし最高の行事になるように頑張りたいと思います。



第3回愛育園大運動会

まごころ 渡邊 梓

愛育園運動会が終わりました、大成功でした！キャンプが終わって、次は運動会だ！と意気込んだのが、つい昨日のように感じられます。今までの運動会の中で一番楽しかった！と思える運動会になりました。私も子ども達に負けなくらい全力になれました。特に全力になれたのは応援合戦です。運動会準備が始まった時に「応援合戦」と聞いて、小学校の運動会でよく見る「赤、赤、赤、ゴー!ゴー!ゴー!」という応援だと思った自分が情けないくらいです。参考にした動画を観ながら、こんなのできるの！？とわくわくしつつ、少しの不安もありつつ始まった応援練習ですが、驚きなのは、誰一人として「できない」と弱音を吐かなかったことです。学校はもちろん、それぞれが部活やバイトのある中で、全体練習の時間は21時からの1時間、短い時間で、本当にみんなが集中して練習しました。細かい動きも多く、覚えるのも振りを含めるのもなかなか大変でしたが、練習を重ねるうちに息が合っていくのが感じられました。本番では練習を信じ、声を張り、全員が全力を出せたと思います。運動会の閉会式の時、ぐっとこみ上げてくるものがあり、目頭が熱くなりました。それは、真剣な眼差しや、出来た時の笑顔など、子ども達の様々な表情が思い出され、無事

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

運動会が終わってほっとした様な、終わってしまったさみしさの様なものからでした。キャンプ同様、子ども達と全力で行事に取り組むことで、いつの間にか私自身が楽しんでいました。勝っても負けても一人ひとりが全力を出せ、感動できる運動会があるのだと知りました。次の行事も楽しみです！ありがとうございました！



第三回愛育園大運動会

あおぞら保育士 富澤正樹

9月25日、第3回目となる愛育園大運動会が開催されました。

子ども達、職員が赤組、白組に分かれて、競い合う運動会。第1回は赤組、第2回は白組がそれぞれ勝ち、1勝1敗同士で迎える第3回の運動会は、準備・練習から本番まで、とても盛り上がりしました。

今年は、今までの競技に綱引きや玉入れ、しっぽとり等の新種目も加わり、盛り沢山の運動会となりました。そして、この愛育園運動会には、赤組白組が競い合う種目とは別にもう一つ、大切な種目があります。それは「応援合戦」です。毎年、難しい内容に挑戦してきている応援合戦。今年は、扇子を使った舞を中高生、職員で練習しました。太鼓のリズムに合わせて、扇子を右に左に動



(平成28年10月10日発行 月刊「円福」483号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

かし、はたまた表、裏にひっくり返したり、激しい振り付けを習得する為に毎日、一生懸命に練習しました。この扇子は、表が赤、裏が白になっていて、全員が同じ動きをする中で、間違えてしまうと綺麗に見えないのですが、全員が動きを合せて、全4パート、約8分の舞がビシッと決まった時は本当に鮮やかです。難しすぎる内容で、本番近くまで中々上手くいきませんでしたが、誰一人としてあきらめず、最後まで練習し続けた結果、本番ではとても素晴らしい舞を披露することが出来ました。

毎年感じる事ですが、普段の学校生活もあり、応援合戦以外の種目練習もある中で、これだけの事が出来てしまう子ども達の力は本当に底がしれません。

また、運動会は、他の行事と違って、勝ち負けがつきます。だからこそ見れる子ども達の様子が沢山見ることが出来ました。

私は、白組の一員とし運動会に参加しましたが、第3回の運動会は、午前の部から、7対42で赤組に大きくリードを許す展開となり、白組の子ども達が戦意喪失しているのではと思っている所に、午前の部最終種目のマラソンがやってきました。マラソンは気持ちがかなり重要な種目です。もしかしたら、手を抜いてしまう子が出てきてしまうかもと心配しましたが、どの子も一生懸命走りました。とりわけ、ある男の子は過去2大会、なんののかんの言ってまともに走らなかったという事があったので、白組劣勢の中では、今年も走らないのでは？と心配したのですが、必死に走って総合10位でゴールしました。決してマラソンが得意でなく、気持ちも強くない子なのですが、最後まで投げ出さずに走る姿は本当に成長の証と感じました。

また、その後の種目も赤組にはほとんど勝てずに迎えた、最終種目のオールスターリレーでは、一致団結して、赤組勝つことが出来ました。最後の最後で白組の力を見せる事が出来たのは、途中で、あきらめたり、投げやりにならなかった子ども達の力だったと思います。今年は惜しくも負けてしまいましたが、子ども達の色々な姿が見れた大成功の運動会でした。

第三回愛育園大運動会

保育士 近藤 典雄

9月25日、今回で三回目となる愛育園大運動会が開催されました。この日のために児童も職員も一生懸命練習に励んできました。毎日欠かさず走り切ったマラソンや小学生、中学生時間が無いなか、夜遅くまで繰り返し、繰り返し練習した応援合戦、チームで協力し励まし合ったムカデリレーや紅白リレーどれもこの日の為にやってきました。

当日、前日まで降り続いていた雨が嘘のような晴天で真夏に戻ったかのようでしたが、絶好の運動会日和となりました。みんなの頑張りが天にも届いたようでした。

今年も応援合戦では小学生を担当させていただきました。中学生が応援練習を始めると小学生もまだかまだかとウズウズしているようでした。今年も応援歌と三々七拍子と組体操を行いました。組体操では年々難しい技に挑戦して今年のメインには人間お越しを中高生協力のもと取り入れてみました。練習ではなかなか上手くいかない所も出てきましたがみんな粘り強く頑張って何とか形にな

る所まで行けたと思いました。

本番、緊張している子もいましたが、まず一発目大きな声を出そうと言って子ども達を送り出しました、みんな練習どうり元気よく出来ていたと思います。最後の組体操も大きな失敗も無く無事終える事が出来ました。この頑張りに後続く中高生も勇気付けられたと思います。

今年の運動会も無事にプログラムを終了する事が出来ました。今回の運動会でまた1つ子ども達も成長できたとおもいます。



第3回愛育園運動会

保育士 加藤ゆかり

9月25日に、第3回愛育園運動会が開催されました。その週は、台風が接近しており、雨の日が続いていましたが、運動会当日はそんな天気が嘘だったかのように晴れてくれました。これも、ここまで頑張ってきた子ども達のパワーだな、と思いました。

今年の運動会の中で、1番印象深いのは、中高生の応援合戦です。毎日夜遅くまで、みんなで頑張って練習してきました。今年は扇子を使った演技に挑戦しました。動きが複雑だったり、テンポが速く、振りを覚えるのも一苦労でしたが、毎日中高生は一生懸命練習に励んでいました。当日は、練習の甲斐があり、とても素晴らしい演技を魅せることが出来、園長先生や来賓の方を感動させることが出来ました。子ども達も、「こんな素晴らしい演技を自分達が出来たんだ！」ときっと自信に繋がったことと思います。中高生のパワー・やる気はすごいな、と感じました。

また、赤組と白組のそれぞれの団結力を強く感じました。全員が、仲間の為に一生懸命になり、全員が、仲間を一生懸命応援していました。自分のことばかりにならず、仲間の為に頑張れる、一生懸命になれる、ということはとても素敵なことだな、と思いました。

子ども達のキラキラした笑顔、悔し涙を流す姿、頑張ってきたからこそその表情をたくさん見ることが出来ました。みんなで作り上げ、みんなで頑張った、素敵な愛育園運動会になりました。



第3回 愛育園運動会

保育士 藤本 諒一

9月に入るといよいよ運動会の準備が始まります。今年は台風などの影響もあり、なかなかグラウンドでリレーやムカデ競争などの練習が本格的に出来ない中、体育館を使って毎日調整を重ねていきました。また、中高生を中心に空いた時間に準備も率先してやってくれました。

8月の終わりに今年の運動会へむけてマラソン練習が始まりました。子どもたちがいつも通る廊下には日々の自分のタイムが分かるように記録表を張り出し、毎日夕方に練習してきました。タイムが縮まらなくなると様々な方法を試したり、図書館から陸上の本を借りてきて職員と研究しながら走る子とみんな一生懸命練習していました。

9月25日本番当日。今までの天気が嘘のように青空がひろがりました。これもきっと日々の子ども達の頑張りをお天道様が見てくれていたからでしょう。

午前中の見せ場はやはり応援合戦です。この日のために約3週間かけて練習してきました。部活やアルバイトで疲れている中必死になってやりました。やりきったときの達成感はとても素晴らしいものでした。

夕食の時に撮影したビデオをみんなで見たのですが、タイミングが揃っていたり、1つ1つのパートが終わるごとに拍手と歓声で食堂が一杯になりました。

これからも様々なことで子ども達と力を合わせて一生懸命に取り組めば、素晴らしい結果になることを信じて過ごしていきたいと思います。

「運動会」

まごころ保育士 竹内早季

秋空のもと開催された「第3回愛育園大運動会」、この日に向けて子どもたちも職員も日々の準備、練習に励んできました。2キロないし3キロのマラソンで自己ベスト更新を目指して毎日走り続け、「先生、今日今までで一番早かったよ！」と嬉しそうに教えてくれる子どもたちの表情がとても印象深く残っています。そんな子どもたちと一緒にマラソン練習をしていると、職員も本気になって走り、練習初日は筋肉痛に襲われました。マラソンも思い出深いですが、やはり一番印象深いのは応援合戦です。昨年、まだ観客として応援合戦を見せていただいたときは、「すごいな」と単純に感心しているばかりだったのですが、今年は違います。自分も職員として、子どもたちと一緒に練習して参加する立場になり、応援合戦の演目のレベルの高さに慄いていました。本当にできるのかな、と最初は不安ばかりでした。しかし、毎晩の練習に中高生は積極的に参加して、できるまで一生懸



命繰り返している姿を見て、職員が負けてはいられないとできる限り練習に参加しました。夜は子どもたちと、昼は職員同士で練習を重ねました。きついなと思うときもありましたが、私以上に努力して頑張っている子どもや職員がいると思うと、前向きに練習に参加できました。そして、運動会当日、全員の気持ちがそろったのか、今までで一番の応援合戦を見せることができました。充実感や達成感でいっぱいでした。そして、来年はどんなものになるのかな、と期待感も生まれました。子どもたちそれぞれに抱えている問題はありますが、行事というきっかけを通してこんなにも前向きに頑張れることに改めて目標や夢の大切さを感じました。

第三回 愛育園大運動会

あおぞら保育士 佐々木 弘観

9月25日、それまでの1週間が嘘の様に晴れ渡り、無事に第三回愛育園大運動会を開催することが出来ました。この日に向けて1ヶ月前の8月の下旬からマラソン練習が始まりました。日が近づくにつれ、入場門の準備や、応援合戦の練習、新しい種目の準備など、当日だけでなく、準備のところから皆一生懸命に取り組んでいました。

特に、中高生の応援合戦は非常に難易度が高いものでした。表裏が紅白に染められた扇子を、太鼓の音に合わせて揃え、舞うというものでしたが、部活やアルバイトなどで、中々全員が揃って練習することが出来ず、皆で合わせる機会が少なかったため、本番直前まで練習をしていました。

応援合戦本番は、非常に綺麗な発表となりました。この大成功の裏には、見えない努力が沢山詰め込まれており、本番に向けて皆で取り組んだ事によって一体感が生まれました。

この他にも、去年は無かった綱引きや玉入れといった種目が追加され、非常に盛り沢山の運動会でした。去年に比べて種目が増えたため、疲労も昨年よりもはるかにありました。ですが、この運動会が大成功だと感じた部分があります。それは、運動会後の片付けが皆協力的であったことです。中高生たちは疲れている中、きびきびと動き、先に帰った小学生も各々出来る手伝い



をしてくれました。10台以上ある重い机を1人で黙々と2階の体育館へ片付けてくれた小学生もいます。

準備から本番、そして片付けまで、大成功の運動会でした。次は愛育園祭！また皆で協力して、成功させるよう頑張っていきます。

平成28年度愛育園大運動会

まごころホーム保育士 小林礼

毎晩体育館に中高生と職員が集まって応援練習をします。みんなそれぞれ教え合い覚えたところで繰り返し繰り返し全員で合わせていきます。みんな真剣です。もちろん職員も真剣です。運動会前夜、最後のパートを皆で合わせ練習を終えました。25日、連日の雨が嘘のような快晴です！天気にも恵まれグラウンドのコンディションも良好でとても良い日を迎えられたと思います。プログラムに入り競技がはじまります。白組の一員としてみんなで円陣を組み赤組よりも声を出して返事も全力でしようと団結し気合を入れ競技に臨みました。各競技子どもも職員も一緒に汗をかき顔を真っ赤にして頑張っています。感動しました。練習通りに行くものもあれば上手くいかずに赤組に負けてしまうものもあります。それでも勝ち負けに関係無く一心不乱に競技に参加するみんなの姿は本当に素晴らしく、今回の運動会のプログラム作成にあたり考えた今年のスローガン「汗と涙と輝く笑顔！ ベストを尽くせるカメになれ！」の通りであると感じました。ウサギとカメの競争で、カメは勝ち負けに執着するのではなく最後までただひたすらにゴールをめざしました。その結果見事怠惰のウサギに勝つことができたのです。運動会前半で既に点差がついていました。赤組が優勢です。ですが「どうせ負ける」などという空気を出す子どもは一人もおらず、一人ひとりが最後まであきらめずに頑張る姿はベストを尽くしたカメと重なりました。プログラムも進みいよいよ応援合戦。少しの緊張感と何度も練習を重ねてついた自信と色々な感情が子ども達の表情から見てとれます。ダンス・演技が終わりとしてつもない達成感を味わう事ができました。大成功です。私達職員も一緒に練習をし教え教えられたことで子どもと同じ目線で悔しさも上達する喜びも分かち合う事ができたのが本当に嬉しかったです。午後私は体調を崩してしまい最後まで競技を見る事ができませんでした。悔しいです。職員の皆さまをはじめ子ども達にも迷惑をかけてしまい本当に申し訳ありませんでした。園に復帰した所で先生方と子ども達から私が見ることが出来なかった部分の話をたくさん聞く事ができました。これが私が愛育園にきて初めての運動会になりました。本当にたくさんのことを感じ、学んだ運動会でした。ありがとうございました。



第3回 愛育園大運動会 児童感想

愛育園運動会で印象に残ったことは3つあります。

まずは応援合戦です。自分は、部活やアルバイトをやっているため応援練習には、ほとんど時間に遅れて参加していました。パート1、パート2、パート3、パート4と応援があり、すべて覚えるのにはすごく時間がかかってしまいました。愛育園運動会本番は、ところどころ間違えてしまいましたが最後まで応援が出来たので良かったと思います。

2つ目はマラソンです。マラソン練習ではたまに参加できても中3の子に抜かれていました。マラソン本番は中学生に負けないように頑張りましたが、砂利道と公園に入ったところで抜かされてしまいました。ですが、悔いは残っても、全力で走りきったという達成感に残りました。

第4回愛育園運動会のマラソンでは、絶対に優勝したいです。

3つ目は、運動会の準備と片付けです。運動会の準備のほうは部活やアルバイトで出れなかったけど片付けは率先して動いていけたと思います。

この3つのことが愛育園運動会で印象に残ったことだと思います。

自分は来年が最後の運動会なので悔いの残らないように全力で取り組んでいけたら良いと思います。(高2 S)

8月25日に愛育園大運動会がありました。今年の運動会ではマラソンで入賞することと、応援合戦を成功させること、優勝することを目標に一月近く前から練習してきました。この一月は正直いってキツかったです。やりたくないといつも思いました。でも、目標を達成するために練習してきました。

当日は、マラソン中高男子で二位、応援合戦は大成功、そして紅組が優勝して幕を閉じました。

マラソンは、練習よりもキツかった気がします。特に砂利道と坂がキツかったです。途中で辞めたいと思いましたが、今までの努力が水の泡なんてことには絶対にしたくないと思ったので、最後にとばしていったら、三着でした。とても嬉しかったです。

応援合戦では、夜10時過ぎぐらいまで、毎日練習しました。一生懸命練習してきたので当日は全然緊張しませんでした絶対にイケると思っていました。

最後のオールスターリレーで負けてしまい、優勝は無理かなあと思いましたが僅差で赤組が優勝できました嬉しかったです。自分は運動会で自信をつけることが出来たと思います。この運動会で培った力を今後に生かしたいです。(中3 R)

9月25日に第三回愛育園大運動会がありました。私は愛育園に来て初めての運動会だったので楽しみにしていたけど、けがをしてしまいほとんどの種目に参加することができませんでした。で



も応援合戦には参加することが出来てうれしかったです。少し間違えてしまったところもあったけど、練習の時よりうまくいったので、良かったです。あとは今回放送係をやりました。そう練習の時はたくさん失敗してしまい、本番は大丈夫かな……。とちょっと不安もあったけど、本番ではスムーズに進行することができたし、精一杯頑張ることができました。何度も何度も繰り返し練習してよかったと思いました。みんな一生懸命頑張っていて感動しました。来年は私にとって最後の運動会になってしまうので、競技に参加できるようにけがをしないよう気を付けたいです。(高2 K・K)

日曜日に愛育園大運動会がありました。私が頑張った種目は3つあります。一つ目は短距離走です。私は練習ではあまり抜かせなかったけど、本番では頑張って走ったから抜かせました。Hちゃんは抜かせなかったけど、2位になることができました。二つ目はマラソンです。約1か月練習をしてきました。私は今年頑張って中高生と一緒に3キロに挑戦しました。初めての時は足が筋肉痛になったりして、次の日走るのが大変だったけど、半分くらいの時には全然足が痛くなったりしませんでした。体調が悪い時にはあまりいい記録が出せない時もあったけど、毎日継続して走れてよかったです。本番では小学生女子の部1位にはなれなかったけど、今までより、いい走りができたと思分でも思います。三つ目は紅白リレーです。私は赤組の代表として選ばれました。初め名前を呼ばれたときはびっくりしたけど、みんなが声をかけてくれたので、頑張ろうと思いました。初めのうちはバトンがうまく回せず落としてしまったときもありました。でも、練習をしているとだんだんうまくなってきたと思います。本番ではすごく緊張していろいろな事を考えていたけど、みんなが応援してくれたので、赤組が一位になれました。閉会式では赤組が勝つか、白組が勝つか緊張していました。総合優勝の時は赤組の方が点が多かったなので、すごく嬉しかったです。来年の運動会では、また勝てるように練習をしていきたいです。(小4 S・Y)

